

平成 22 年度一般会計当初予算説明資料

10 款 教育費

6 項 社会教育費

博物館 (0857-26-8042)

4 目 博物館費

(単位：千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
(新)『山陰海岸ジオパーク』の魅力を学ぶ講座開催費	1,714	0	1,714				1,714	
トータルコスト	8,975千円 (前年度：0千円) [正職員：0.9人]							
主な業務内容	教育普及活動業務、情報発信業務、関係機関との調整・協議業務							
工程表の政策目標 (指標)	入館者の増(平成22年度：入館者数6.1万人) 普及活動への入館者の増(平成22年度：0.3万人)							

事業内容の説明

1 事業の概要

世界ジオパーク加盟をめざす『山陰海岸ジオパーク』の取組の支援及びその拠点施設として、地元自治体や民間団体と連携して『山陰海岸ジオパーク』の魅力を多くの方に伝える講座の開催や講演会等への講師の派遣等を行う。

2 事業の内容

(単位：千円)

区 分	予算額	事業内容
(1) 主催講座の開催 (年15回)	1,214	○バスツアーでジオスポットを学ぶ講座 ・兵庫県エリアも取り入れ、山陰海岸ジオパークの代表的なジオスポットをバスで移動しながら、観察し学ぶ講座。 ○ジオスポット観察会 ・鳥取県エリアの各ジオスポットの貴重な自然(地形の成り立ちや岩石の特徴など)について観察し学ぶ講座。
(2) 学芸員の派遣	500	○学芸員派遣(派遣旅費) ・地元自治体や民間団体等が主催する学習会やボランティア養成講座などへ、山陰海岸学習館及び博物館の学芸員を講師として派遣する。

3 これまでの取り組み状況、改善点

山陰海岸学習館では平成21年度に「山陰海岸ジオパークの地形・地質を学ぶ講座」を新たに追加し、地域の方々に山陰海岸の新たな魅力を紹介した。天候不良の場合を除き、毎回定員に近い状態であり好評である。

平成22年度は、「山陰海岸ジオパーク」の魅力を多くの方に伝えるため、

- ①関係市町村や民間団体とも連携し、「山陰海岸ジオパーク」の拠点施設として整備した山陰海岸学習館を中心としたジオパークに関する主催講座の開催
 - ②学校をはじめ地元自治体や民間団体等が主催する学習会やボランティア養成講座等への学芸員の派遣
- などの活動を展開する。